

報道関係 各位

平成 18 年 11 月吉日

富士急行株式会社
フジヤマミュージアム

フジヤマミュージアム 新企画展

日本の美—日本画で描く富士山

会期 平成 18 年 12 月 8 日（金）～ 平成 19 年 5 月 31 日（木）

—収蔵作品を通じて「日本画」をわかりやすく解説—



片岡 球子 「めで多き富士」

絵画の紙焼き写真に関するお問い合わせは、お手数ですがフジヤマミュージアム
（０５５５－２２－８２２３）までご連絡いただきたくお願い申し上げます。

近現代の著名画家たちが描いた“富士山”の絵画にいつでも会える美術館・フジヤマミュージアム（山梨県富士吉田市。富士急ハイランド・ホテルハイランドリゾートに隣接）では、12月8日（金）から平成19年5月31日（木）まで、新企画展「日本の美—日本画で描く富士山」を開催します。

《伝統的な美しい日本画の世界》

「日本画」という言葉は聞いたことがあるけれど、何をもって「日本画」と呼ばれるのかはよく知らない—多くの人がこのように感じているのではないのでしょうか。小・中学校で習う水彩画に親しみはあっても、岩絵の具を膠で溶いて着色するという「日本画」は身近にない材料を用いていたたり、技術習得に時間がかかるということもあり、一般の人にはあまりなじみがないのが実情です。本展覧会では、そんな「日本画」について、油彩画・水彩画との比較や画材の展示などを通して、よりわかりやすくご案内してまいります。

本展覧会で取り上げる作品として、伝統的な日本画の画材・技法を用いて描かれるのは、やはり日本の美の代表である“富士山”。岩絵の具の赤や青、緑といった鮮やかな色の中に、金や銀を用いながら大胆な構図で富士を描き出した片岡球子の「めで多き富士」は画面から華やかな印象があふれ出し、非常に装飾性に富んだ作品だといえます。また、日本画で用いられる基本的な彩色法“にじみ”や“ぼかし”を効果的に使って、なんともいえない空気感を作り出した松尾敏男の「瑞雲富士」など作品約50点を展示し、日本画の美しさを存分に味わっていただきたいと願っております。日本で最も美しい山“富士山”を、日本の伝統的な画材でこれ以上ないほど美しく描いた美の競演、ぜひお楽しみください。

《その他の主な展示作品》

大矢紀「富士早春」、奥田元宋「富嶽秋耀」、奥村土牛「富士」、小倉遊亀「霽れゆく」、富岡鉄斎「天地毓靈圖」、東山魁夷「朝爽」、横山大観「三保乃不二」など約50点を展示予定（五十音順 敬称略）



大矢紀「富士早春」



松尾敏男「瑞雲富士」

《企画展関連イベント》

企画展開催にちなみ、より日本画を楽しんでいただくための体験プログラムを行います。材料や道具を揃えるのが大変というイメージの日本画ですが、今回のプログラムは材料・道具ともに全て用意された状態で、さらに専門の講師をお迎えして初心者の方にもわかりやすく、そして楽しく日本画を体験していただくことができます。日本画を鑑賞するだけでなく、実際に描いてみることでより理解を深め、楽しめること間違いなしのおすすめプログラム、この機会にぜひご参加ください。

【はじめての日本画教室】

日本画の特性など基本的な事柄について学びながら全3回の講座で作品を仕上げます。

日時 平成19年1月20日(土)、2月10日(土)、3月10日(土)の3回講座
各回13:00～16:00の3時間

対象 中学生以上から

定員 20名

講師 阪本トクロウ氏

場所 フジヤマミュージアム アトリウム

参加費 3,500円(全3回分の材料費・入館料を含む)

【にじみ絵&さらさら粉の絵の具で色あそび】

普段なじみのない粉の絵の具や墨を使いながら和紙に色をつけてみよう。

日時 平成19年1月6日(土) 午前10:00～12:00、午後14:00～16:00の1日2回

対象 小学生以下のお子様とその保護者

定員 各回10組20名

講師 梅津正史氏

場所 フジヤマミュージアム アトリウム

参加費 1組1,500円(保護者の入館料を含む)

お問い合わせは、フジヤマミュージアム

TEL: 0555-22-8223(代表)

E-mail: info@fujiyama-museum.com

* 一般のお客様からの問い合わせ先は、こちらをご案内下さい。